

# 参院選後の改憲勢力

## 「3分の2」47%望まず

憲法世論調査

本社加盟の日本世論調査会が憲法に関する世論調査を実施した結果、夏の参院選で、憲法改正賛成の議員が国会発議に必要な3分の2の議席に「達しない方がよい」は47%で、「3分の2以上を占めた方がよい」の44%より多かった。憲法9条改正の「必要はない」が2014年6月の前回調査

より3割減ったものの57%で過半数。「必要がある」の38%（前回比3割増）を大きく上回った。（7面に関連記事）  
憲法を「改正する必要がある」「どちらかといえば改正する必要がある」の回答を合わせた改正派は54%（前回56%）。「改正する必要はない」「どちらかといえば改正する

必要はない」の反対派は40%（前回38%）となった。  
調査は2月27、28両日、面接方式で実施。昨年12月の参院選に関する調査では質問が一部異なるが、改憲勢力による3分の2の議席を望む回答は57%、望まないは33%で、逆転した。  
【注】小数点1位を四捨五入した。